

平成28年度第1回山内図書館利用者フォーラム 会議録

1. 日 時 平成28年9月21日（水） 14:00～15:30
2. 場 所 山内図書館集会室
3. 出席者 利用者フォーラムメンバー
千葉委員（代表）、貞廣委員（副代表）、横溝委員（欠席）、池谷委員（欠席）、
西川委員（欠席）、松下委員、宮崎委員（欠席）、中川委員、徳栴委員、
宮澤委員（欠席）、高樋委員、今中委員

事務局

釜田（有隣堂本部）

古川館長（欠席）、渡邊副館長、味元（山内図書館）

4. 案 件

- (1) 館内視察
- (2) 横浜市山内図書館概要と平成27年度事業報告
- (3) 平成28年度の図書館事業
- (4) ご意見・ご要望

5. 概要

(1)館内視察（渡邊副館長）

本年6月に閲覧席のリニューアルを行う。パソコン利用席を2席から4席に増やし、キャレルタイプの席とした。調べもの席も大きな平机を4人で使用していたが、向かい合う席にはパーティションを設けた。この使用変更に伴い、調べもの席、パソコン利用席、パソコン兼用席、インターネット利用席は、利用者自身に席を確保してもらう座席予約システムを導入。これらリニューアル部分を中心に館内を案内する。

(2) 横浜市山内図書館概要と平成27年度事業報告（渡邊副館長）

1. 横浜市山内図書館概要

山内図書館は、地域をサービスフィールドに生活密着図書館として、地域の方に役立つ図書館を目指している。

取組としては、①地域の読書活動推進、②地域の情報拠点機能を強化する、③利用しやすい図書館づくりの促進に重点を置いている。

なかでも、横浜市の読書条例、青葉区の推進目標に則り、次のようなことを行っている。

- ①読書活動推進の担当を配置
- ②青葉区の読書イベントのカレンダーの作成
- ③ビブリオバトルの開催

2. 平成27年度事業報告(渡邊副館長)

配布資料「平成27年度山内図書館事業報告書」にお目通しをいただく。

また、本年度からの新事業として、4月より「あざみ野ブックカフェ」を開始したことを報告。あざみ野ブックカフェは2か月に1回、第2木曜の夜に開催。平日の夜、お茶を飲みながら、本に親しんでもらい、図書館がちょっと立ち寄る楽しい場所になればと立ち上げる。参加も申込制ではなく、当日、開始時間に会場に来てもらい参加いただくスタイルをとっている。告知にはフェイスブックも活用している。

<委員からのご意見>

・山内図書館がフェイスブックを行っていることを知らなかった。もっと、周知に努めてはどうだろうか。

・フェイスブックにはイベントとしてアップすると、出席者数をカウントできる機能がある。そういった機能をもっと活用すると思う。

・昨年、田奈で行われたビブリオバトルでは、時計が見えにくかったので、今後工夫をお願いしたい。また、チャンプ本を決める際、バトルは後ろを向いて、投票者が誰に挙手しているか分からないようにしていた。ルールで決まっているのかもしれないが、自分の目で結果を知りたい人もおられると思うので、再考していただければありがたい。

(3) 平成28年度の図書館事業 (渡邊副館長)

来年度は開館40周年に当たるので、今年度から準備を進めたい。今回と次回の利用者フォーラムで、事業等に関してご意見やアイデアがあれば、具体的にご提案いただきたい。

これまで開催してきた講演会も継続を予定。演者についても、候補案をお出しいただければと思う。

<委員からのご意見>

・35周年のときに来館ポイントを集めると、チャームをプレゼントしていたが、楽しかった。そういう企画があってもよいかも。ただ、来館回数を35周年に合わせて、35回としていたが、少しきつかった。40周年にかけて40とすると、さらにハードルが高くなるので、回数は一考してほしい。

・神明社での牛込の獅子舞の講座は行っているが、翌日に行われている驚神社の祭礼に関する講座は現在行っていない。驚神社の祭礼には山内地区に伝わっているおはやしをはじめ、伝統芸能が披露される。40周年の時は、驚神社のお祭りをとりあげてみてはどうだろうか。

・あおばみんのメディアチームが5年くらい前に、青葉区のお祭りの映像を収録していたように思う。そういうグループや地域の人に呼び掛けて、お祭りの映像を集め、山内図書館の集会室で上映会を行ってはどうだろうか。

・たしか、山内図書館開館25周年のときには、ゴールドとシルバーのやまちゃんシールが作成された記憶があるが、40周年でもちょっと豪華版のやまちゃんシールをつくってはどうだろうか。

・数年前に、あおばみんで古いイベントを集めたDVDを作成した。その上映会を行ってもよいかもしいない。

・青葉区政15周年の際に『山内のあゆみ』（2009年）が作成されたが、その続編、最近の約10年の出来事を加味したものを作成してはどうだろうか。

- ・青葉区の街並みの新旧を対比する写真展を行ってはどうだろうか。
- ・演者については、青葉区にゆかりのある方、数名の方の名前が挙がる

⇒1年間の中で、記念日のイベントのようなものは考えているのか。

図)一年を通して、適宜イベントを行っていくが、やまちゃんの誕生日（開館日）が4月12日なので、その日には何かイベントを行いたいと思っている。

（4）ご意見・ご要望

山内図書館全般に関するご意見・ご要望をうかがう。

<委員からのご意見・ご要望>

・図書館で除籍する本を、利用者に払い出すことはできないだろうか。修理をする者としては、何度も修理をくりかえして大切に読み継がれていることはうれしいことであり、傷んでいても欲しいという方もおられるはずだと思う。そういう本を一般の人に回すことのできるようなコーナーがあればいいのに、と思う。年に1回とか2回とかでも、譲渡会を行えないだろうか。

図)中央図書館では、市内の施設や団体に制限して図書資料の移管という形で行ってい

る。一般市民向けには、山内図書館では行っていない。

・以前山内図書館でも行ったことがある。譲渡会に出す本を膨大な数の中から選別し、1冊1冊にシールやスタンプを貼った。ボランティアが協力したが、1日3交代くらいで、担当を分担して準備した。当日は、時間を区切って、整理券を配布して、1日6回くらいに入れ替え制で行ったが、毎回同じくらいの冊数、対象に偏りがないよう本を用意。そして、1人5冊の決まりを順守してもらえるよう、リストをつくるなど、不公平にならないようにするための苦労があった。

図) 何回も修理して長く愛されてきた本だけとか、子どもの本、大人の本のみという風にテーマを決めて行えば、できるかもしれないので、一考したい。

・譲渡会の入場者を利用者（図書館カードを持っている人）に限定してはどうか。

・最近、街角文庫・街角ポストという形態が出てきている。街角に本棚をおいて、持ち込みも、借り出しも自由。本の中にはカードが挟んであり、読んだ人はそのカードに感想を書き、棚に戻し、また次の人に借りられていくということが行われている。これをそのまま図書館で行うことは難しいが、本を通して人がつながっていくような事を考えられないだろうか。

・利用者フォーラムの委員には、いろいろな業種の方がおられるので、それぞれの専門の立場から、流通の話など、あざみ野ブックカフェでお話しいただいても、面白いかもしれない。

図) 次回の第2回山内図書館利用者フォーラムは2017年2月15日（水）を予定。

配付資料:会議次第

平成27年度山内図書館事業報告書